

《共通基礎科目 教養教育科目》

科目名	コミュニケーション基礎				
担当者氏名	岡 美佳				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択必修	開講年次・開講期	1年・春期

《授業の概要》

大学の授業においては、ディスカッションやディベートにより、自分の考えや意見を理由や根拠を明確にして伝えることを求められる場面が多くある。本講義では、そのような場面において、さまざまな角度から、効果的に自分の考えを相手に伝える方法を取り上げる。ディスカッションやディベートを行うため、受講者の積極的な参加が求められる。

《テキスト》

中野美香「大学1年生からのコミュニケーション入門」ナカニシヤ出版

《参考図書》

特に指定しない。

《授業の到達目標》

効果的なディスカッションの方法を身に付ける。知的生産の方法の基礎を身に付ける。

《成績評価の方法》

提出物 30%、授業参加度 20% レポート50%

《授業時間外学習》

効果的なディスカッションを行うためには、論題に対する知識やさまざまな観点からの検討が必要となる。日頃から、テレビや新聞、インターネット等で時事問題に関心を持つとともに、難しいと思う書籍にも触れ、語彙を豊かにすることを心掛けること。授業外で論題について調べてくることを求めることもある。

《備考》

コミュニケーション能力を涵養する科目のため、授業内で受講者同士のディスカッションや発表が求められる。この点を考慮して履修すること。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	大学生での学びとコミュニケーション	大学生に求められる学びの姿勢と、大学での学びにおけるコミュニケーションの役割について学ぶ
2	コミュニケーションとは何か	コミュニケーションの種類について学ぶ
3	自己理解を深める(1) 自己概念	自己理解を深める(1) 意見を通して自己を考える
4	自己理解を深める(2) 通時的に捉える	自己理解を深める(2) これまでの経験から通時的に自己を捉える
5	自分の考えを整理し、伝える(1)	自分の考えを整理し、伝える(1) 理由と例を挙げるなどの伝え方に注目して、自分の考えを整理して伝える方法を学ぶ
6	自分の考えを整理し、伝える(2)	自分の考えを整理し、伝える(2) 理由と具体例を意識し、相手への伝え方や伝わり方を考慮して、自分の考えをより良く伝える方法を学ぶ
7	社会スキル	様々なコミュニケーション(1) 社会スキルの種類について学ぶ
8	アサーション	様々なコミュニケーション(1) 自分のことをまず考えつつも、他者に配慮した行動について学ぶ
9	聴衆を分析する	コミュニケーションと異文化理解(1) 自分の主張を相手により良く伝えるために、聴衆を分析することを学ぶ
10	文化相対主義	コミュニケーションと異文化理解(2) 文化相対主義について学ぶ
11	グループディスカッション	グループディスカッションの方法と実践について学ぶ
12	議論の考え方(1)	議論の考え方(1) 政策論題、価値論題、事実論題について学ぶ
13	議論の考え方(2)	議論の考え方(2) 議題についてリサーチする
14	議論の考え方(3)	議論の考え方(3) ディベートの方法、戦略、評価方法について学ぶ
15	まとめ	まとめ 各個人の知恵と知識を持ち寄って、新たな価値を生み出す学びの必要性について